引用文献・参考文献

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森, 雅秀 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/23988

引用文献

阿部泰郎　1989　「宝珠と王権　中世王権と密教儀礼」『岩波講座東洋思想 16 日本思想 2』岩波書店、pp. 116-169。

阿部泰郎　1998　『湯屋の皇后　中世の性と聖なるもの』名古屋大学出版会。

阿部泰郎　2001　『聖者の推参　中世の声とヲコなるもの』名古屋大学出版会。

網野善彦　1986　『異形の王権』平凡社。

荒　松雄　1977　『ヒンドゥー教とイスラム教：南アジア史における宗教と社会』（岩波新書）岩波書店。

荒井　献　2007　『ユダとは誰か　原始キリスト教と『ユダの福音書』の中のユダ』岩波書店。

荒木博之　1985　『やまとことばの人類学』朝日新聞社。

アラス、ダニエル　2002　『なにも見ていない　名画をめぐる六つの冒険』宮下志朗訳　白水社。

アリエス、フィリップ　1980　『＜子供＞の誕生　アンシャン・レジーム期の子供と家族生活』杉山光信・杉山恵美子訳、みすず書房。

イェンゼン、A. D. E.　1977　『殺された女神』大林太良他訳　弘文堂。

池上俊一　1990　『動物裁判　西欧中世・正義のコスモス』（講談社現代新書）講談社。

石黒　淳　1985　「金剛手の系譜」『密教美術大観　第3巻』朝日新聞社、pp. 181-191。

石澤良昭　2005　『アンコール　王たちの物語』NHK出版。

石田尚豊　1975　『曼荼羅の研究』東京美術。

石濱裕美子　2001　『チベット仏教世界の歴史的研究』東方書店。

石原　明　1975　「清涼寺釈迦立像納入の内蔵模型」『MUSEUM』293 : 27-34。

石原　明　1975　「清涼寺釈迦立像納入の内蔵模型（続）」『MUSEUM』289 : 15-20。

石元泰博撮影　佐和隆研, 宮本忠雄解説　1982　『湖国の十一面観音』岩波書店。

泉　武夫・加須屋誠・山本聡美　2007　『六道絵』中央公論美術出版。

井手誠之輔　2001　『日本の宋元仏画』（日本の美術 418 号）至文堂。

今枝由郎　2007　『ダライラマ 6 世恋愛彷徨詩集』（ダライ・ラマ六世ツァンヤン・ギャムツォ著）トランスビュー。

入澤　崇　1986　「ヴァジュラパーニをめぐる諸問題」『密教図像』第 4 号。

入澤　崇　1988　「ナーガと仏教」『密教図像』6: 68-50。

入澤　崇　1999　「観無量壽経の背後にあるもの」『浄土教の総合的研究』（仏教大学総合研究所紀要　別冊）、pp. 111-133。

ヴァンヴェニスト、エミール　1987　『インド＝ヨーロッパ諸制度語彙集　II』（前田耕作監訳）言叢社。

上山春平・梶山雄一編　1974　『仏教の思想　その原型をさぐる』（中公新書）　中央公論社。

馬杉宗夫　1992　『大聖堂のコスモロジー：中世の聖なる空間を読む』講談社現代新書。

馬杉宗夫　1998　『黒い聖母と悪魔の謎：キリスト教異形の図像学』講談社現代新書。

梅原　猛監修　1989-1991　『人間の美術』学習研究社。

江本嘉伸　1993、1994　『西蔵漂白』（上）（下）　山と渓谷社。

エリアーデ、ミルチャ　1968　『大地・農耕・女性　比較宗教類型論』堀一郎訳　未来社。

エリアーデ、ミルチャ　1969　『聖と俗　宗教的なるものの本質について』風間敏雄訳　法政大学出版局。

エリアーデ、ミルチャ　1971　『生と再生　イニシェーションの宗教意義』堀一郎訳　東京大学出版会。

エリアーデ、ミルチャ　1981　『聖なる時間と空間－宗教学概論(3)－』久米博訳　せりか書房。

エリアーデ、ミルチャ　1990　『ホーニヒベルガー博士の秘密』直野敦・住谷春也訳　福武書店。

エルツ、ロベール　1980　『右手の優越：宗教的両極性の研究』吉田禎吾、内藤莞爾、板橋作美訳　垣内出版。

おおえまさのり　1974　『チベットの死者の書』講談社。

大隅和雄・西口順子編　1989　『シリーズ　女性と仏教』平凡社。

太田博太郎監修　1989　『図説日本の仏教　6　神仏習合と修験道』田邊三郎助責任編集　新潮社。

大塚伸夫　2001　「『蘇婆呼童子請問経』に見られる初期密教修行者像について」『密教学研究』33: 37-74。

大平　健　1995　『やさしさの精神病理』岩波新書。

大林太良　1973　『稲作の神話』弘文堂。

大宮康男　1996　「浄瑠璃寺九体阿弥陀像造立考」『佛教芸術』224: 33-55。

岡田明憲　1988　『ゾロアスターの神秘思想』講談社現代新書。

奥山直司　2003　『評伝　川口慧海』中央公論社。

小倉　泰・横地優子　2000　『ヒンドゥー教の聖典二編』東洋文庫　平凡社。

小此木啓吾　1991　『エディプスと阿闍世』青土社。

小此木啓吾・北山修編　2001　『阿闍世コンプレックス』創元社。

オットー、R.　1968　『聖なるもの』山谷省吾訳　岩波文庫。

小野田俊蔵　1997　「チベット仏画の色材」『チベット仏教図像研究：ペンコルチューデ仏塔（国立民族学博物館研究報告別冊　18号）』（立川武蔵・正木晃編）pp. 359-372。

小野田俊蔵　1999　「タンカの流派と描き方」『シリーズ密教　第2巻　チベット密教』春秋社、pp. 182-200.

カイヨワ、R.　1970　『遊びと人間』清水幾太郎, 霧生和夫訳　岩波書店。

香川孝雄　1993　『浄土教の成立史的研究』山喜房仏書林。
香川孝雄　1999　「『観無量壽経』の成立問題史考」『浄土教の総合的研究』（仏教大学総合研究所紀要　別冊）、pp. 13-38。
香川孝雄編　1999　『浄土教の総合的研究』（仏教大学総合研究所紀要　別冊）仏教大学。
風間喜代三　1978　『言語学の誕生　比較言語学小史』岩波新書。
風間喜代三　1987　『ことばの生活誌：インド・ヨーロッパ文化の原像へ－』平凡社。
風間喜代三　1990　『ことばの身体誌：インド・ヨーロッパ文化の原像へ**』平凡社。
梶山雄一　1995　「神変」『仏教大学総合研究所紀要』2: 1-37。
梶山雄一　1996　『「さとり」と「廻向」』人文書院。
梶山雄一編　1985-1986　『原始仏典』講談社。
金岡秀友他編　1989　『仏教文化事典』佼成出版社。
樺山紘一　1987　『歴史のなかのからだ』筑摩書房。
上村勝彦　1981　『インド神話』東京書籍。
辛島　昇　1992　『南アジア　地域からの世界史 5』朝日新聞社。
辛島　昇　1996　『南アジアの歴史と文化』（放送大学教材）放送大学教育振興会。
河口慧海　1980　『チベット旅行記』（長澤和俊編）白水社。
川崎信定　1976　「＜チベットの死者の書＞死後の生存と意識の遍歴」『エピステーメー』七月号、pp. 112-125。
川崎信定　1980　「死後の生存と意識の遍歴　『チベットの死者の書』を考える」『仏教文化』10: 47-63。
川崎信定　1989　『チベットの死者の書』筑摩書房。
川崎寿彦　1983　『庭のイングランド』名古屋大学出版会。
川崎寿彦　1987　『森のイングランド』平凡社。
河東仁　2002　『日本の夢信仰』玉川大学出版部。
河邑厚徳・林由香里　1993　『チベット死者の書　仏典に秘められた死と再生』NHK 出版。
木村重信　1982　『ヴィーナス以前』中公新書。
キュモン、ルランツ　1993　『ミトラの密儀』小川英雄訳　平凡社。
ギーブル、ロルフ　1981　「密教的実践における象徴をめぐる試論　月輪観を中心に」『東洋学術研究』20(2)。
ギンズブルグ、カルロ　1986　『ベナンダンティ　16-17 世紀における悪魔崇拝と農耕儀礼』せりか書房。
クラーク、ケネス　1971　『ザ・ヌード　裸体芸術論　理想的形態の研究』高階秀爾・佐々木英也訳　美術出版社。
グリーンフィールド、スーザン　1999　『脳が心を生み出すとき』新井康允訳　草思社。
黒田日出男　1986　『姿としぐさの中世史　絵図と絵巻の風景から』平凡社。
黒田日出男　1996　『謎解き　洛中洛外図』岩波書店。
クレツリ、W．ランドルフ　2002　『仏教のコスモロジー』瀧川郁久訳　春秋社。
桑山正進　1987　『大唐西域記』大乗仏典　中国・日本編 9　中央公論社。
クーパー、J. C.　1992　『世界シンボル辞典』三省堂。
小池寿子　1994　『死者たちの回廊　よみがえる「死の舞踊」』平凡社。
小池寿子　1999　『死を見つめる美術史』ポーラ文化研究所。
小泉袈裟勝編著　1990　『図説　単位の歴史辞典』柏書房。
小泉和子・玉井哲雄・黒田日出男編　1996　『絵巻物の建築を読む』東京大学出版会。
肥塚　隆・宮治昭編　1999　『世界美術大全集　東洋編 14　インド(2)』小学館。
肥塚　隆・宮治昭編　2000　『世界美術大全集　東洋編 13　インド(1)』小学館。
コッテル、アーサー　1993　『世界神話辞典』左近司祥子訳　柏書房。
小西正捷　1981　『人間の世界歴史　8　多様のインド世界』三省堂。
五味文彦　1993　「絵巻の視線　時間・信仰・供養」『思想』829: 4-27。
近藤　治　1977　『インドの歴史　新書東洋史 6』（講談社現代新書）講談社。
ゴンブリッチ、E. H.　1979　『芸術と幻影』瀬戸康久訳　岩崎美術社。
酒井紀美　2001　『夢語り・夢解きの中世』朝日新聞社。
ザクスル、F．　1980　『シンボルの遺産』松枝到他訳　せりか書房。
ザクスル、F．　1991　『土星とメランコリー　自然哲学・宗教・芸術の歴史における研究』晶文社。
桜井邦朋　2000　『天才たちの宇宙像』吉川弘文館。
定方　晟　1972　「仏典に於けるナーガ」『印度学仏教学研究』20(1): 53-59。
定方　晟　1973　『須弥山と極楽』（講談社現代新書）講談社。
定方　晟　1984　『阿闍世のすくい　仏教における罪と救済』人文書院。
定方　晟　1989　『阿闍世のさとり　仏と文殊の空の教え』人文書院。
定方　晟　1985　『インド宇宙誌』春秋社。
定方　晟　1989　『阿闍世のさとり　仏と文殊の空のおしえ』人文書院。
佐藤達生・木俣元一　2000　『大聖堂物語　ゴシックの建築と美術』河出書房新社。
佐藤忠良他　1992　『遠近法の精神史　人間の眼は空間をどうとらえてきたか』平凡社。
サローヤン、W．1987　『ママ・アイラブユー』岸田今日子・内藤誠訳　新潮社。
佐和隆研　1962　『仏像図典』吉川弘文館。
鎮目恭夫　1999　『人間にとって自分とは何か』みすず書房。
島田茂樹　1999　「後期密教のマンダラ：異形の神へ－ルカのコスモロジー」立川武蔵・頼富本宏編『シリー

ズ密教　第１巻インド密教』春秋社、pp. 114-130。
ジャクソン、ディヴィッド　2006　『チベット絵画の歴史：偉大な絵師たちの絵画様式とその伝統』（瀬戸敦郎、田上操、小野田俊蔵訳）平川出版社。
ジャクソン、ディヴィッド　2008　『チベット絵画の技法と素材』（瀬戸敦郎、田上操、小野田俊蔵訳）佛教大学アジア宗教文化情報研究所。
シュヴァリエ、Ｊ．他　1996　『世界シンボル事典』大修館書店。
ショペン、Ｇ．　1996　「『大般涅槃経』における比丘と遺骨に関する儀礼　出家仏教に関する古くからの誤解」『大谷学報』76(1): 1-20 （平岡聡訳）。
ショペン、Ｇ．　2000　『インドの僧院生活』小谷信千代訳　春秋社。
白川静　1984　『字統』平凡社。
白川静　1987　『字訓』平凡社。
白木利幸　2000　『こころを癒す巡礼参拝用語事典』小学館ライブラリー、小学館。
末木文美士・梶山雄一　1992　『浄土仏教の思想　第２巻　観無量寿経　般舟三昧経』講談社。
菅沼　晃　1991　『佛教の受容と変容』全５巻　佼成出版社。
杉本卓洲　1984　『インド仏塔の研究』平楽寺書店。
杉浦康平・岩田慶治　1982　『アジアのコスモス＋マンダラ』　講談社。
スクリーチ、タイモン　1998　『春画　片手で読む江戸の絵』高山宏訳　講談社選書メチエ。
スミス、N.『子どもの絵の美学』勁草書房。
関根康正　1995　『ケガレの人類学：南インド・ハリジャンの生活世界』東京大学出版会。
セズネック、ジャン　1977　『神々は死なず：ルネサンス芸術における異教神』高田勇訳　美術出版社。
高崎直道　1983　『仏教入門』東京大学出版会。
高階秀爾　1995　『ピカソ　剽窃の論理』ちくま文庫。
鷹巣　純　2007　「腐乱死体のイコノロジー　九相詩図像の周辺」『説話文学研究』42: 125-132.
高田　修、秋山光和、柳沢　孝　1967　『高雄曼荼羅』吉川弘文館。
田賀龍彦　1974　『授記思想の源流と展開』平楽寺書店。
ダグラス、メアリ　1985　『汚穢と禁忌』塚本利明訳　思潮社。
武田和昭　1995　『星曼荼羅の研究』法蔵館。
武田佐知子編　1999　『一遍聖絵を読み解く』吉川弘文館。
立川武蔵　1987　『曼荼羅の神々』ありな書房。
立川武蔵　1990　『女神たちのインド』せりか書房。
立川武蔵　1992　『はじめてのインド哲学』（講談社現代新書）講談社。
立川武蔵　2002　『般若心経の新しい読み方』春秋社。
立川武蔵、石黒　淳、菱田邦男、島　岩　1980　『ヒンドゥーの神々』せりか書房。
立川武蔵・頼富本宏編「シリーズ密教」全４巻　春秋社。
田中公明　1987　『曼荼羅イコノロジー』平河出版社。
田中公明　1993　『チベット密教』春秋社。
田中公明　2000　『活仏たちのチベット』春秋社。
田中公明編　1998～2001　『ハンビッツ文化財団蔵　チベット仏教絵画集成　第１～３巻』臨川書店。
田中公明　2001　『タンカの世界：チベット仏教美術入門』山川出版社。
田中純男編　2000　『死後の世界　インド・中国・日本の冥界信仰』東洋書林。
田中貴子　1993　『外法と愛法の中世』砂子屋書房。
田中久男編　1993　『不動信仰』雄山閣出版。
田辺勝美　1999　『毘沙門天像の誕生　シルクロードの東西文化交流』吉川弘文館。
田辺三郎助　1986　『日本の美術　243　釈迦如来像』至文堂。
田辺三郎助　1993　『日本の美術　330　飛天と神仙』至文堂。
田辺三郎助　2001　『日本の美術　418　日本の宋元仏画』至文堂。
谷川健一　1999　『隠れキリシタンの聖画』小学館。
田村圓澄・黄壽永編　1985　『半跏思惟像の研究』吉川弘文館。
玉城康四郎　1983　『仏教史１・2』山川出版社。
千野香織、西　和夫　1991　『フィクションとしての絵画』ぺりかん社。
辻直四郎　1967　『インド文明の曙　ヴェーダとウパニシャッド』（岩波新書）岩波書店。
辻直四郎　1970　『リグ・ヴェーダ賛歌』（岩波文庫）岩波書店。
辻直四郎　1978　『古代インドの説話　ブラーフマナ文献より』春秋社。
辻直四郎訳　1979　『アタルヴァ・ヴェーダ讃歌　古代インドの呪法』岩波書店。
ツルティム・ケサン　1990　「＜書評＞『チベットの死者の書』川崎信定訳」『仏教学セミナー』51: 84-88。
津田徹英　2003　『日本の美術　443　中世の童子形』至文堂。
寺田隆信　1999　『紫禁城史話　中国皇帝政治の桧舞台』中公新書。
栂尾祥瑞　1975　「ユングのマンダラ・シンボル」『密教文化』111: 53-76。
栂尾祥瑞　1986　『チベット・ネパールの仏教絵画』臨川書店。
冨島義幸・高橋康夫　1996　「法成寺の塔について」『佛教芸術』228: 50-69。
冨島義幸　2005　「九体阿弥陀堂と常行堂：尊勝寺阿弥陀堂の復元と位置づけをめぐって」『佛教芸術』283: 9-39。
長尾雅人責任編集　1967　『大乗仏典』中央公論社。
中沢新一　1993　『三万年の死の教え：チベット『死者の書』の世界』角川書店。
中島敦　2001-2002　「悟浄出世」「悟浄歎異」『中島敦全集 1』筑摩書房。
長島信弘　1976　「遠似値への接近　右と左の象徴的分類に関するニーダムの所論をめぐって」『一橋論叢』77(3): 315-323。

長野泰彦編　1999　『時間・ことば・認識』ひつじ書房。
中村　元　1958　『ブッダのことば：スッタニパータ』（岩波文庫）岩波書店。
中村　元・早島鏡正・紀野一義　1963　『浄土三部経』（岩波文庫）岩波書店。
中村平治　1997　『インド史への招待』吉川弘文館。
波平恵美子　1984　『ケガレの構造』青土社。
西岡直樹他　1989　『ネパール・インドの聖なる植物』八坂書房。
西口順子　1987　『女の力　古代の女性と仏教』平凡社。
西山美香　2008　「九相図の展開　小野小町と檀林皇后の＜死の物語＞」『国文学　解釈と鑑賞』73(12): 120-127.
ニーダム、R．　1993　『象徴的分類』みすず書房。
根立研介　2006　『日本中世の仏師と社会　運慶と慶派・七条仏師を中心に』塙書房。
萩尾望都　1965-1966　『百億の昼と千億の夜』光瀬龍原作　秋田書店。
長谷川明　1987　『インド神話入門』（とんぼの本）新潮社。
服部正明　1979　『古代インドの神秘思想　初期ウパニシャッドの思想』（講談社現代新書）講談社。
パノフスキー、E.　1987　『イコノロジー研究』（新装版）浅野徹他訳　美術出版社。
ハラー、H．　1989　『チベットの七年　ダライ・ラマの宮廷に仕えて』（福田弘年訳）白水社。
バクスター、チャールズ　1991　『世界のハーモニー』田口俊樹訳　早川書房。
濱島正士　1992　『寺社建築の鑑賞基礎知識』至文堂。
濱島正士　2001　『日本仏塔集成』中央公論美術出版。
林　隆夫　1993　『インドの数学：ゼロの発明』中公新書。
早島鏡正　1982　『インド思想史』東大出版会。
バルト、ロラン　1985　『明るい部屋：写真についての覚書』花輪光訳　みすず書房。
東山明・東山直美　1999　『子どもの絵は何を語るか　発達科学の視点から』ＮＨＫ出版。
樋口隆康　1980　『バーミヤーンの石窟』同朋社出版。
菱田邦男　1993　『インド自然哲学の研究』山喜房佛書林。
日野西眞定　1999　「弘法大師と先祖信仰」『説話・伝承学』7: 11-26。
平岡　聡　2001　「インド仏典に出没する龍（ナーガ）」『アジア遊学』28: 14-22。
平川　彰　1974/1979　『インド仏教史』（上・下）春秋社。
平川　彰・梶山雄一・高崎直道　1982-5　『講座大乗仏教』全10巻　春秋社。
平川　彰　1989-1990　『平川彰著作集３・４　初期大乗仏教の研究』春秋社。
平野　聡　2004　『清帝国とチベット問題：多民族統合の成立と瓦解』名古屋大学出版会。
ファン・ヘネップ、A．　1977　『通過儀礼』綾部恒雄、綾部裕子訳　弘文堂。
福岡伸一　2007　『生物と無生物のあいだ』（講談社現代新書）講談社。
藤井恵介　1998　『密教建築空間論』中央公論美術出版。
フジタ・ヴァンテ編　1994　『チベット生と死の文化　曼荼羅の精神世界』東京美術。
藤田宏達　1970　『原始浄土思想の研究』岩波書店。
藤田宏達・桜部建　1994　『浄土仏教の思想　第１巻　無量寿経　阿弥陀経』講談社。
ブラッカー、C．、M．ローウェ　1976　『古代の宇宙論』矢島祐利・矢島文夫訳　海鳴社。
ブラウエン、M．　2002　『曼荼羅大全』森雅秀訳　東洋書林。
フリース、A．D．　1984　『イメージ・シンボル事典』山下主一郎他訳　大修館書店。
ブロック、マルク　1998　『王の奇跡』井上泰男他訳　刀水書房。
ホイジンガ、J.　1973　『ホモ・ルーデンス』中公文庫。
ホーヴィング、Th.　1999　『にせもの美術史』雨沢泰訳　朝日新聞社。
ボストン美術館　1991　『ボストン美術館東洋美術名品集』NHK 出版。
逸見梅栄　1935　『印度に於ける礼拝像の形式研究』東洋文庫。
前田耕作　1986　『巨像の風景　インド古道に立つ大仏たち』（中公新書）中央公論社。
松長有慶　1989　『密教　インドから日本への伝承』中公文庫。
松長有慶　1991　『密教』（岩波新書）岩波書店。
松長有慶　2000　『秘密集会タントラ和訳』法蔵館。
松永有慶編著　2005-2006　『インド後期密教』春秋社。
松本栄一（写真）・奥山直司（文）　1996　『チベット　マンダラの国』小学館。
真鍋俊照　1979　『タンカ　チベット・ネパールの仏画』同朋舎。
真鍋俊照　1999　『邪教・立川流』筑摩書房。
水野弘元　1972　『仏教用語の基礎知識』春秋社。
三宅守常　1999　「中世の臨終行儀と明恵」『大倉山論集』44: 1-40。
宮坂宥勝　1998　『宮坂宥勝著作集　第一巻仏教の起源』法蔵館。
宮治　昭　1981　『インド美術史』吉川弘文館。
宮治　昭　1992　『涅槃と弥勒の図像学：インドから中央アジアへ』吉川弘文館。
宮治　昭　1996　『ガンダーラ　仏の不思議』講談社。
宮治　昭　1999　『仏教美術のイコノロジー　インドから日本まで』吉川弘文館。
宮治　昭　2002　『バーミヤーン　遙かなり：失われた仏教美術の世界』NHK 出版。
宮田珠己　2004　『晴れた日は巨大仏を見に』白水社。
宮元啓一　2002　『インド哲学七つの難問』講談社。
宮元啓一・石飛道子　2003　『ビックリ!　インド人の頭の中　超論理思考を読む』講談社。
村田純一　1998　『新・哲学講義　4　「わたし」とは誰か』岩波書店。

毛利　久　1961　『仏師快慶論』吉川弘文館。
本川達雄　1992　『ゾウの時間ネズミの時間　サイズの生物学』（中公新書）中央公論社。
森　雅秀　1991　「インド密教儀礼における水」『国立民族学博物館研究紀要』15(4): 1013-1047。
森　雅秀　1991　「十忿怒尊のイメージをめぐる考察」『仏教の受容と変容　3 チベット・ネパール編』立川武蔵編　佼成出版社、pp.293-324。
森　雅秀　1993　「賢劫十六尊の構成と表現」『宮坂宥勝博士古稀記念論文集インド学密教学研究』法蔵館、pp. 909-937。
森　雅秀　1994　「「チベットの死者の書」とは何か」『ユリイカ』第 26 巻第 13 号　pp. 30-39。
森　雅秀　1996　「マンダラの形態の歴史的変遷」立川武蔵編『マンダラ宇宙論』法蔵館、pp. 101-124。
森　雅秀　1997　『マンダラの密教儀礼』春秋社。
森　雅秀　1999　「集会樹の造型と儀礼」『印度学仏教学研究』47(2): (194)-(201)。
森　雅秀　1999　「マンダラの形と機能」立川武蔵・頼富本宏編『シリーズ密教　第 2 巻チベット密教』春秋社、pp. 135-160。
森　雅秀　1999　「灌頂儀礼」立川武蔵・頼富本宏編『シリーズ密教　第 1 巻インド密教』春秋社、pp. 194-208。
森　雅秀　2000　「解体されるマンダラ　タンカの画面構成に関する一考察」『加藤純章博士還暦記念論集　アビダルマ仏教とインド思想』春秋社　pp. 373-386。
森　雅秀　2001　「仏教における殺しと救い」立川武蔵編『癒しと救い：アジアの宗教的伝統に学ぶ』　玉川大学出版部、pp. 154-171。
森　雅秀　2001　「ネパール国立古文書館所蔵『百八観音白描集』」『密教文化』206: 56-107。
森　雅秀　2002　「インドの不空羂索観音像」『佛教藝術』262: 43-67。
森　雅秀　2003　「「見ること」による救い」『PSIKO』30: 40-43。
森　雅秀　2003　「空海の芸術観：芸術と儀礼」『密教の聖者　空海』（日本の名僧4）吉川弘文館、pp. 184-200。
森　雅秀　2004　「インド密教における聖地と巡礼」『東洋文化研究所紀要』144: 177-202。
森　雅秀　2004　「チベットのボン教における聖なるものの形」頼富本宏編『聖なるものの形と場』法蔵館、pp. 423-451。
森　雅秀　2007　「日本人はマンダラをどのように見てきたか」『点から線へ』50: 78-102。
森　雅秀　2008　「密教仏の形成」『インド世界への憧れ：仏教文化の源郷を求めて』（シルクロード・奈良国際シンポジウム記録集　No. 9）pp. 86-92.
森　雅秀　2008　『マンダラ事典　100のキーワードで読み解く』春秋社。
森　雅秀　2008　「大地にひそむ龍とナーガ：比較儀礼研究の可能性」『明日の東洋学』（東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター報）20: 2-5.
モース, M.、ユベール, H.　1983　『供犠』小関藤一郎訳　法政大学出版局。
柳沢　孝（監修）　1994　『東寺の両界曼荼羅　連綿たる系譜・甲本と西院本』東寺宝物館。
矢野道雄　1986　『密教占星術』東京美術。
矢野道雄　1992　『占星術師たちのインド』（中公新書）中央公論社。
矢野道雄編　1980　『インド天文学・数学集』朝日出版社。
山折哲雄　1987　「仏教的世界観と民俗的世界観」『仏教民族学大系 3 聖地と他界観』（桜井徳太郎編）名著出版、pp. 267-279。
山口瑞鳳　1987-1988　『チベット（上・下）』東京大学出版会。
山口昌男　1975　『文化と両義性』岩波書店。
山口益他訳　1976　『大乗仏典　6　浄土三部経』中央公論社。
山崎元一　1996　『古代インドの文明と社会』（世界の歴史第 3 巻）中央公論社。
山崎利男　1985　『悠久のインド　ビジュアル版　世界の歴史　4』講談社。
山下博司　1997　『ヒンドゥー教とインド社会』山川出版社。
山田明爾　1967　「観仏三昧と三十二相　大乗実践道成立の周辺」『仏教学研究』24: 27-48。
山本陽子　2006　『絵巻における神と天皇の表現　見えぬように描く』中央公論美術出版。
柳澤　孝　2005　「園城寺国宝金色不動明王画像（黄不動）に関する新知見：不動明王画像修理報告」『美術研究』385: 135-150.
山野智慧　2000　「初期密教経典における金剛手」『密教学研究』32: 55-72。
山野智慧　2000　「『大宝積経』「密迹金剛力士会」の一考察」『智山学報』50: 41-57。
ヤンチェン・ガロ撰述；ラマ・ロサン・ガンワン講義　1994　『ゲルク派版 チベット死者の書』平岡宏一訳　学研。
ユング、C. G.　1956　『人間心理と宗教』（ユング著作集　4）濱川祥枝訳　日本教文社。
ユング、C. G.　1976　『心理学と錬金術』池田紘一・鎌田道生訳　人文書院。
ユング、C. G.　1982　『元型論：無意識の構造』林道義訳　紀伊國屋書店。
ユング、C. G.　1983　『東洋的瞑想の心理学』湯浅泰雄・黒木幹夫訳　創元社。
ユング, C. G.　1991　『個性化とマンダラ』林道義訳　みすず書房。
ユング, C. G.、M-L.フォン・フランツ　1990　『アイオーン』野田倬訳　人文書院。
養老孟司　2003　『バカの壁』新潮社。
横井　清　1988　『的と胞衣　中世人の生と死』平凡社。
吉田洋一　1979　『零の発見：数学の生いたち』（改訂版）岩波新書。
吉野惠子　2004　「弥勒菩薩下生年代考」『東方』19:

82-93。
頼富本宏　1984　『庶民のほとけ　観音・地蔵・不動』ＮＨＫ出版。
頼富本宏　1985　『マンダラの仏たち』東京美術。
頼富本宏　1991　『曼荼羅鑑賞の基礎知識』至文堂。
頼富本宏　1992　「インド現存の金胎融合要素」『密教学研究』24: 11-30。
頼富本宏・下泉全暁　1994　『密教仏像図典　インドと日本のほとけたち』人文書院。
ライマー、ラス　1995　『隔絶された少女の記録』片山陽子訳　晶文社。
柳　宗玄・中森義宗編　1990　『キリスト教美術図典』吉川弘文館。
リンジン、P.　2000　『八十四人の密教行者』杉本恒彦訳　春秋社。
ル・ゴッフ　1988　『煉獄の誕生』渡辺香根夫・内田洋訳　法政大学出版局。
ルルカー、M.　1991　『象徴としての円』竹内章訳　法政大学出版局。
ディ・レオー、Ｊ．Ｈ．　1999　『絵にみる子どもの発達　分析と統合』白川佳代子・石川元訳　誠信書房。
ローソン、F.　1992　『聖なるチベット　秘境の宗教文化』森雅秀・森喜子訳　平凡社。
若桑みどり　1984　『薔薇のイコノロジー』青土社。
若桑みどり　1992　「ルネサンス的空間の崩壊　マニエリスムとバロックへの道」『遠近法の精神史』平凡社、pp. 149-222。
和多秀乗（昭夫）　1972　「高野山の二十五三昧式」『仏教文学研究』11: 325-360。
渡瀬信之　1990　『マヌ法典』（中公新書）中央公論社。
渡瀬信之　1991　『マヌ法典』（中公文庫）中央公論社。
渡辺照宏　1967　『お経の話』（岩波新書）　岩波書店。
渡辺照宏　1974　『仏教　第二版』（岩波新書）　岩波書店。

『アジア仏教史』佼成出版社。
『講座大乗仏教』春秋社
『興福寺　五重塔内陣・東金堂後堂と旧食堂遺構』2000　小学館スクウェア
「国宝と歴史の旅　8　塔　形・意味・技術」『朝日百科日本の国宝　別冊』朝日新聞社。
『釈迦信仰と清涼寺』京都国立博物館　1982。
『図説　日本の仏教』新潮社。
『日本の古寺』保育社。
『日本の仏像大百科』ぎょうせい。
『仏教文化事典』佼成出版社。
『不動堂と八大童子像　平成の大修理　国宝不動堂落慶記念展』高野山霊宝館　1999.
『魅惑の仏像』毎日新聞社。
『ユリイカ』（臨時増刊号　特集　死者の書）第 26 巻第 13 号。

Allinger, Eva. 1999. The Green Tara as Savaiouress from the Eight dangers in the Sumtsek at Alchi. *Orientations* 30(1): 40-44.
Gonda, J. 1980. *Vedic ritual : the non-solemn rites*. Leiden : E.J. Brill.
Harrer, H. 1953, 1954. *Seven Years in Tibet*. New York : Dutton.
Jackson, David & Janice 1984. *Tibetan Thangka Painting: Methods & Materials*. London: Serindia Publications.
Liebert, Gosta 1976. *Iconographic Dictionary of the Indian Religions*. Studies in South Asian Culture Vol. 5 Leiden: E. J. Brill.
Mankodi. Kirit 1991. *The Queen's Stepwell at Patan*. Bombay : Franco-Indian Research.
Mori, M & Y. Mori 1995. *The Devīmāhātmya Paintings Preserved at the National Archives, Kathmandu*. Bibliotheca Codicum Asiaticorum No. 9, Tokyo: The Centre for East Asian Cultural Studies for Unesco.
Staal, F. 1979 The Meaninglessness of Ritual. *Numen* 26: 2-22.
Thurman, R. A. F. 1994. *The Tibetan Book of the Death: Liberation through Understanding in the Between*. London: Thorsons.